

「社会人としてのマナー研修」開催要項

研修番号
01

1. テーマ

「社会人としてのホスピタリティマナーとは」

2. 講 師

日本接遇教育協会 阿部 ふみ 氏

<プロフィール>

医療・福祉・介護業界からの多くの研修・講演依頼を受けると同時に医療業界や福祉業界での接遇講師養成や従業員教育に力を入れ、実践的なワークを取り入れた研修を行う。

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和4年7月5日（火） 10：00～16：00

【会 場】オンライン会場 ※ZOOMを使用したオンラインでの研修となります。

4. 定員及び対象者

【定 員】100名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】高齢・障害福祉事業所に勤務する採用後1年未満の職員

5. 参加にあたりご準備いただくもの

(1) パソコン (Windows10 推奨) 及びインターネット環境 (光回線)

※7.9インチ以上のタブレットでも可能ですが、Wi-Fi 環境が必須となります。

なお、スマートフォンでの参加はご遠慮ください。

(2) 静かな環境 (部屋)

※周囲の音量によっては研修に支障がでることがあります。

(3) ヘッドセット (マイクとイヤホン) ※PC 内蔵のものでも可能です。

(4) Web カメラ ※PC 内蔵のものでも可能です。

6. ねらい

社会人として備えておくべき接遇・マナーの基礎知識、身だしなみや言葉遣い、コミュニケーションスキルやクレーム対応等を総合的に学び、利用者との良好な関係の構築を図るとともに、利用者満足度の向上を目指す。

7. 日 程

		9:15 9:45 10:00	12:00 13:00	16:00
受付	操作説明	<p>〈講義・演習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 接遇・マナーとは ■ 第一印象 (身だしなみ・姿勢・挨拶) ■ 敬語の基本と応用 ■ スピーチロックに気を付けよう (言葉遣いの注意点) 	昼 休 憩	<p>〈講義・演習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ コミュニケーションの基本 (聞く力と伝える力) ■ クレーム対応ケーススタディ ■ タイプ別対応法(ご家族・外部の方)

※開始 15 分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

8. 申込期限

令和4年6月10日（金）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※6月17日（金）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

9. その他

- (1) 本研修は ZOOM を使用したオンラインでの研修となりますので、ご参加いただくには PC 及びインターネット環境が整っている必要があります。
- (2) 本会ホームページに ZOOM の動作確認方法を掲載しておりますので、必ずお申込み前に動作確認をお願いいたします。
- (3) 本研修は音声だけでの参加や聴講のみの参加はできません。必ずビデオで顔が映り、音声で発言ができる状態でのご参加となります。
- (4) 1 端末につき 1 名参加することができます。※1 台の PC で複数名の受講は不可。
- (5) 受付開始 2 時間前の時点で「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル4」等が発令された場合は、研修を中止します。また新型コロナウィルス等やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。中止の場合は社会福祉研修センターホームページでもお知らせします。

「会計基礎研修Ⅰ」開催要項

研修番号
02

1. テーマ

「社会福祉法人の会計と経営
～法人運営・社会福祉法人会計基準の理解と課題把握～」2. プログラムおよび講師 ※プログラムを分けて実施します。

【Aコース】講義・演習・・・会計実務担当職員向け

テーマ 「社会福祉法人会計の基礎を学ぶ

～社会福祉法人会計簿記と複式簿記の一致点と相違点、
簿記会計の基本的な理解と貸借対照表・資金収支計算書・事業活動計算書の関係～」

講 師 田中・吉野会計事務所 税理士 吉野 仁 氏

【Bコース】講義・演習・・・経営者・管理者向け

テーマ 「決算書の読み方と自法人の財務分析・最近の厚労省通知等
～把握すべき数値及び目標設定と直近決算の評価～」

講 師 田中・吉野会計事務所 税理士 吉野 縫子 氏

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和4年7月8日（金） 10：00～16：00

【会 場】オンライン会場 ※ZOOMを使用したオンラインでの研修となります。

4. 定員及び対象者

【定 員】各コース100名ずつ

【対象者】会計実務担当職員及び経営者・管理者

5. テキスト

当日はA・B両コースとも下記のテキストを使用しますので
事前にお買い求めください。

テキスト『経営力を高める社会福祉法人会計の実践

～予算の立て方から決算まで～』（田中育雄／吉野縫子／吉野仁：清文社）
(すでに購入いただいた場合、再購入は不要です。)



6. 参加にあたりご準備いただくもの

(1)パソコン(Windows10 推奨)及びインターネット環境(光回線)

※7.9インチ以上のタブレットでも可能ですが、Wi-Fi環境が必須となります。

なお、スマートフォンでの参加はご遠慮ください。

(2)静かな環境(部屋) ※周囲の音量によっては研修に支障がでることがあります。

(3)ヘッドセット(マイクとイヤホン) ※PC内蔵のものでも可能です。

(4)Webカメラ ※PC内蔵のものでも可能です。

(5)電卓

7. ねらい

Aコース：会計実務担当職員向けに、簿記会計の役割とその基本的知識・重要性を学ぶとともに、貸借対照表・資金収支計算書・事業活動計算書の関係、作り方の基礎を学ぶ。

Bコース：経営者・管理者向けに、決算書の見方を具体例から学ぶとともに、自法人の決算書からポイントとなる指標を把握し、評価する。

8. 日 程

		9:15 9:45	10:00	12:30	13:30	16:00
受付	操作説明	【Aコース】 「社会福祉法人会計の基礎を学ぶ」	【Bコース】 「最近のトピックと決算書の読み方」	昼休憩	【Aコース】 「社会福祉法人会計特有の簿記・3表同時作成演習」	【Bコース】 「決算書の読み方と財務分析・評価」

※開始 15 分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

9. 申込期限

令和4年6月10日（金）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※6月17日（金）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

10. その他

- (1) 申込時に、受講コース(A:会計実務担当職員向け、B:経営者・管理者向け)をお選びください。
- (2) 本研修は、名古屋市知的障害者福祉施設連絡協議会との共催となります。
- (3) 本研修はZOOMを使用したオンラインでの研修となりますので、ご参加いただくにはPCとインターネット環境が整っている必要があります。
- (4) 本会ホームページにZOOMの動作確認方法を掲載しておりますので、必ずお申込み前に動作確認をお願いいたします。
- (5) 本研修は音声だけでの参加や聴講のみの参加はできません。必ずビデオで顔が映り、音声で発言ができる状態でのご参加となります。
- (6) 1端末につき1名参加することができます。※1台のPCで複数名の受講は不可。
- (7) 受付開始2時間前の時点で「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル4」等が発令された場合は、研修を中止します。また新型コロナウイルス等やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。中止の場合は社会福祉研修センターホームページでもお知らせします。
- (8) 本研修は3回受講を推奨ですが、各講座毎でもご参加いただけます

今後の研修内容について（内容は予定、開催日は共通です。）

第2回：令和4年10月12日（水）、 第3回：令和4年12月8日（木）

Aコース 第2回：社会福祉法人特有の会計処理・チェックリストの活用

第3回：社会福祉法人の予算・決算 作成すべき計算書類

Bコース 第2回：社会福祉法人の事業運営と経営力向上

第3回：社会福祉法人の予算・決算と事業計画

「精神障害研修」開催要項

1. テーマ

「精神障害の基礎知識・関わり方と当事者・家族の想い」

2. 講 師

社会福祉法人親愛の里 中村区障害者基幹相談支援センター センター長 関戸久美子氏
名古屋市精神障害者家族会連合会 ご家族の皆様

特定非営利活動法人「名古屋サーティーン」 代表理事 河合俊光 氏 および当事者の皆様

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和4年7月11日（月）10：00～16：00

【会 場】名古屋市医師会館 6階 講堂

（名古屋市東区葵1-4-38 最寄駅：地下鉄「新栄町」駅）

4. 定員及び対象者

【定 員】100名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】高齢・障害福祉事業所職員

5. ねらい

精神障害は、障害・原因疾病の種類も多く、個々によって性格や嗜好も違うため、
症状の程度や意欲などに個人差が大きく、状況の把握が難しいのが現状です。

本研修では、前半に精神疾患・障害の基礎知識、利用者と関わる際の心構えや注意
することを中心に学び、後半に当事者の方やご家族の方から、本人の生の声に耳を傾
け、利用者を取り巻く生活環境や気持ち、個人の症状を理解したうえで、精神障害の
特性を踏まえた支援について考える機会とします。

6. 日 程

	9:30 10:00	12:00 13:00	16:00
受付	講義・演習 「精神障害の特徴と関わり方」 等	昼休憩	パネルディスカッション 「本人・家族の生の声に耳を傾ける」 「精神障害の特性と支援方法を本人・家 族の想いから考える」

※昼休憩以外にも適宜休憩を設けます。

※開始5分前より注意事項等を説明します。

7. 申込期限

令和4年6月10日（金）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページからお願
いします。（<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください

※ 6月17日（金）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- (1) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。
- (2) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (3) 都合によりキャンセルされる場合は、事前にご連絡ください。
- (4) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる場合は、事前にお知らせください。
- (5) 受付開始 2 時間前の時点で「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル4」等が発令された場合は、研修を中止します。中止の場合は社会福祉研修センターホームページでもお知らせします。
- (6) 受講決定者に対し、事前アンケートを設けます。詳細は抽選後、受講決定者へお送りする「受講決定のお知らせ」にてご連絡いたします。
- (7) 本研修は、令和4年12月6日（火）にも同一内容にて開催します。

新型コロナウイルスの感染防止のため、皆様のご理解並びにご協力をお願いします。

①名古屋市の判断により、中止となる場合があります。

受講予定日の2週間前までに名古屋市社協研修センターホームページに実施の有無を掲載しますので、必ず事前に実施状況をご確認ください。直前の中止や変更もあり得ますのでご了承ください。

【HPアドレス：<http://care-net.biz/23/zaitakunet/> または「名古屋市社協 研修センター」で検索】

②3密を避けるため、定員数の削減や研修内容等を変更する場合があります。また、換気のため快適な空調とはなりませんので、防暑・防寒対策をお願いします。

③研修中は、常時マスクの着用をお願いします。消毒薬等も可能な限りご持参ください。

④研修当日も含め、研修前2週間以内に発熱や咳等の感染が疑われる症状があった場合には、参加をご辞退いただきます。お手数ですが、必ず社会福祉研修センター（745-6660）までご連絡ください。

⑤当日は決定通知時にお送りする「受講者体調等確認書」をご提出いただきます。

研修会場案内図

【名古屋市医師会館】

名古屋市東区葵 1-4-38 (6階講堂)



(公共交通機関のご案内)

- 地下鉄東山線「新栄町」駅下車
2番出口より徒歩5分
- 地下鉄桜通線「車道」駅下車
4番出口より徒歩9分



名古屋市医師会館の入り口からお入りください。
※隣の医師会急病センターとお間違えないよう
ご注意ください。

◇ 研修会場へは、公共交通機関をご利用ください ◇

会場に駐車場はありません。

オンライン研修

「感染症対策研修」開催要項

研修番号
04

1. テーマ

「知っているようで知らない感染対策」

2. 講師

浜松医科大学 医学部看護学科 教授 脇坂 浩 氏

<プロフィール>

大学卒業後看護師として、大学病院の集中治療室などで約10年勤務し、その後大学において急性期看護学、感染看護学を教授しています。また、感染対策のスペシャリストである感染管理認定看護師の育成に携わっていました。現在、高齢者介護施設における集団感染の分析と対策に関する研究に取り組んでいます。

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和4年7月15日（金） 10：00～16：40

【会 場】オンライン会場 ※ZOOMを使用したオンラインでの研修となります。

4. 定員及び対象者

【定 員】100名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】高齢・障害福祉事業所職員

5. 参加にあたりご準備いただくもの

(1) パソコン (Windows10 推奨) 及びインターネット環境 (光回線)

※7.9インチ以上のタブレットでも可能ですが、Wi-Fi環境が必須となります。

なお、スマートフォンでの参加はご遠慮ください。

(2) 静かな環境 (部屋)

※周囲の音量によっては研修に支障がでることがあります。

(3) ヘッドセット (マイクとイヤホン) ※PC内蔵のものでも可能です。

(4) Webカメラ ※PC内蔵のものでも可能です。

6. ねらい

感染対策の基本となる手指衛生、環境衛生、ワクチンなどについて、現状を振り返り、学びなおす。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染伝播の状況を捉え、高齢・障害福祉事業所における基本的な感染対策を学習する。インフルエンザ、ノロウイルスなどの健康被害を及ぼす感染症に対して、適切な感染予防と発症時の迅速な対処について学習する。

7. 日 程

		9:15 9:45	10:00	12:00	13:00	16:00	16:40
受付	操作説明	<講義・演習> 「感染対策の基本（手指衛生、環境整備、ワクチンなど）」	昼休憩	<講義・演習> 「高齢・障害福祉事業所における新型コロナウィルス感染症（COVID-19）、インフルエンザ、ノロウイルスの感染対策」		高齢者及び障害者虐待防止法の理解	

※開始 15 分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

※16 時より高齢者及び障害者虐待防止法について理解を図る研修を実施させていただきます。

8. 申込期限

令和4年6月10日（金）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。（<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※ 6月17日（金）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

9. その他

- (1) 本研修は ZOOM を使用したオンラインでの研修となりますので、ご参加いただくには PC 及びインターネット環境が整っている必要があります。
- (2) 本会ホームページに ZOOM の動作確認方法を掲載しておりますので、必ずお申込み前に動作確認をお願いいたします。
- (3) 本研修は音声だけでの参加や聴講のみの参加はできません。必ずビデオで顔が映り、音声で発言ができる状態でのご参加となります。
- (4) 1 端末につき 1 名参加することができます。※ 1 台の PC で複数名の受講は不可。
- (5) 受付開始 2 時間前の時点で「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル 4」等が発令された場合は、研修を中止します。また新型コロナウィルス等やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。中止の場合は社会福祉研修センターホームページでもお知らせします。
- (6) 本研修は、令和4年10月14日（金）にも同一内容にて開催します。

「新任職員基礎研修（障害）」開催要項

1. テーマ

「新任職員としての心構えとは

～新任職員にもとめられる役割とコミュニケーションの重要性を学ぶ～」

2. プログラム及び講師

【第1部（講義）】 10：00～12：00

テーマ：「特別支援教育と人権教育」

講 師：名古屋人権擁護委員協議会 人権擁護委員 青木 廣康 氏

<プロフィール>

S55.3	愛知教育大学教育学部卒業	H16.4～H20.3 愛知県立ひいらぎ養護学校（新設）（教頭）
S55.4～H4.3	愛知県立春日台養護学校（教務主任等） (S62.4～H1.3 兵庫教育大学大学院内地留学)	H20.4～H24.3 愛知県立みあい養護学校（新設）（校長） H24.4～H26.3 愛知県立半田養護学校（校長）
H4.4～H12.3	愛知県立豊田高等養護学校（新設） (教務主任等)	H26.4～H31.3 愛知県総合教育センター（研究指導主事） H31.4～R4.3 愛知県立刈谷東高等学校（教育相談員）
H12.4～H16.3	愛知県立半田養護学校（部主事）	

【第2部（講義・演習）】 13：00～16：00

テーマ：「先輩職員から学ぶ～新人職員に期待される役割とは～」

講 師：社会福祉法人名古屋ライトハウス 明和寮 主任 逆瀬川浩二 氏

社会福祉法人名古屋ライトハウス 戸田川グリーンヴィレッジ

生活支援員 佐藤佳祐 氏

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和4年7月22日（金） 10：00～16：00

【会 場】オンライン会場 ※ZOOMを使用したオンラインでの研修となります。

4. 定員及び対象者

【定 員】100名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】障害福祉事業所に勤務する採用後おおむね1年未満の職員

5. 参加にあたりご準備いただくもの

(1) パソコン（Windows10推奨）及びインターネット環境（光回線）

※7.9インチ以上のタブレットでも可能ですが、Wi-Fi環境が必須となります。

なお、スマートフォンでの参加はご遠慮ください。

(2) 静かな環境（部屋）

※周囲の音量によっては研修に支障がでることがあります。

(3) ヘッドセット（マイクとイヤホン）※PC内蔵のものでも可能です。

(4) Webカメラ ※PC内蔵のものでも可能です。

6. ねらい

新任職員の一人ひとりが、福祉従事者として自覚することは、福祉サービス利用者へより質の高い支援を行う基盤となる。

本研修では、権利擁護を理解することで、新任職員として資質向上を図る機会とする。さらに、先輩職員の話を聞くことで、新任職員としての心得や役割を学ぶ。

7. 日 程

9:15	9:45	10:00	12:00	13:00	16:00
受付	操作説明	第1部 「特別支援教育と人権教育」	昼休憩	第2部 「先輩職員から学ぶ ～新任職員に期待される 役割とは～」	

※開始 15 分前より注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

8. 申込期限

令和4年6月10日（金）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細は別紙「申込方法のご案内」をご覧ください。

※6月17日（金）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

9. その他

- (1) 本研修は ZOOM を使用したオンラインでの研修となりますので、ご参加いただくには
PC 及びインターネット環境が整っている必要があります。
- (2) 本会ホームページに ZOOM の動作確認方法を掲載しておりますので、必ずお申込み前に動作確認をお願いいたします。
- (3) 本研修は音声だけでの参加や聴講のみの参加はできません。必ずビデオで顔が映り
音声で発言ができる状態でのご参加となります。
- (4) 1 端末につき 1 名参加することができます。※1 台の PC で複数名の受講は不可。
- (5) 受付開始 2 時間前の時点で「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル 4」等が
発令された場合は、研修を中止します。また新型コロナウイルス等やむを得ない事
由が発生した場合も中止となることがあります。中止の場合は社会福祉研修センター
ホームページでもお知らせします。

オンライン研修

「ICT 活用による業務効率化研修」開催要項

研修番号
06

1. テーマ

「80歳も成功した導入の工夫、効果を最大化する“文化”の改革」

2. 講師

株式会社イコール 代表取締役 小林 知久 氏

<プロフィール>

東京都東大和市で介護保険・障害支援の在宅系介護事業を運営。24歳の時に母親と創業。

その後、NPO 法人・WEB制作会社の設立運営を経て、2011年より自社の業務効率化・ICT 導入を実施。最高齢 80 歳の全介護員がスマホ現場記録やオンライン会議が出来る体制を実現。

セミナー講師、研修受託、サイト記事でノウハウを発信。1977年生、早稲田大学卒。

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和4年7月25日（月） 10：00～16：00

【会 場】オンライン会場 ※ZOOMを使用したオンラインでの研修となります。

4. 定員及び対象者

【定 員】100名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】高齢・障害福祉事業所職員

5. 参加にあたりご準備いただくもの

(1) パソコン (Windows10 推奨) 及びインターネット環境 (光回線)

※7.9インチ以上のタブレットでも可能ですが、Wi-Fi 環境が必須となります。

なお、スマートフォンでの参加はご遠慮ください。

(2) 静かな環境 (部屋)

※周囲の音量によっては研修に支障がでることがあります。

(3) ヘッドセット (マイクとイヤホン) ※PC 内蔵のものでも可能です。

(4) Web カメラ ※PC 内蔵のものでも可能です。

6. ねらい

福祉の職場での ICT を活用した業務効率化方法や事例等を学び、業務負担の軽減とともに働き方改革の実現を目指す。

ICTに不慣れな介護職員に対応するために、事前準備・指導体制・運用方法などの実例により、ICT導入の入口でのつまづきを解消・防止することを目指す。

また、導入でそれほど効果が感じられない状況を改善するために、さらには導入後のICTの発展的な可能性へ繋ぐために、ツール基礎知識・ツール事例の網羅的な確認・業務方法を変える視点などを知り、原因分析・対応策の選択が出来るようになることをを目指す。

7. 日 程

		9:15 9:45	10:00	12:00	13:00	16:00
受付	操作説明	<講義> 「I C Tの効用・導入の工夫、弊社の活用例、注意点」		昼休憩	<講義・演習> 「テレワーク対応、効果最大化のための“文化”の変更、各ツールの詳細解説」	

※一部内容を変更する場合があります。

※開始 15 分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

8. 申込期限

令和4年6月10日（金）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。（<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※ 6月17日（金）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

9. その他

- (1) 本研修は ZOOM を使用したオンラインでの研修となりますので、ご参加いただくには PC 及びインターネット環境が整っている必要があります。
- (2) 本会ホームページに ZOOM の動作確認方法を掲載しておりますので、必ずお申込み前に動作確認をお願いいたします。
- (3) 本研修は音声だけでの参加や聴講のみの参加はできません。必ずビデオで顔が映り、音声で発言ができる状態でのご参加となります。
- (4) 1 端末につき 1 名参加することができます。※ 1 台の PC で複数名の受講は不可。
- (5) 受付開始 2 時間前の時点で「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル4」等が発令された場合は、研修を中止します。また新型コロナウィルス等やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。中止の場合は社会福祉研修センターホームページでもお知らせします。
- (6) 令和5年1月31日（火）に開催する研修と同一内容です。

「対人援助技術研修」開催要項

研修番号

07

1. テーマ

「わかるとかわる」対人援助技術
～これからのかたちの『わたしの援助』に自信をつけよう～

2. 講 師

株式会社マネジメントサポート 講師 西井 敏子 氏

＜プロフィール＞

看護師として市民病院等で勤務した後、デイサービスで介護福祉の仕事に出会う。

多様な現場で感じたことは、「わかるとかわる」「知らないとできない」ということ。

支援を理解した上で行動し実践が出来ると、支援結果だけでなく支援対象者にも変化が起きることを数多く現場で体験した。ここから基本を伝える教育関係の仕事に就きたいと考えるようになり、現場で働きながら介護教員を目指す。

40代で教員資格を取得したのち、介護福祉士養成校専任教員、保育短大非常勤講師、介護施設人材育成研修等に携わり現在に至る。得意なことは「基本的なこと」をわかりやすく伝えること。

臨機応変を求められる現場だからこそ、基本的な学びの理解を大切にしながら伝えています。

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和4年7月27日（水） 10：00～16：00

【会 場】オンライン会場 ※ZOOMを使用したオンラインでの研修となります。

4. 定員及び対象者

【定 員】100名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】高齢・障害福祉事業所に従事し、従事期間が3年未満の者

5. 参加にあたりご準備いただくもの

(1) パソコン (Windows10推奨) 及びインターネット環境 (光回線)

※7.9インチ以上のタブレットでも可能ですが、Wi-Fi環境が必須となります。

なお、スマートフォンでの参加はご遠慮ください。

(2) 静かな環境 (部屋)

※周囲の音量によっては研修に支障がでることがあります。

(3) ヘッドセット (マイクとイヤホン) ※PC内蔵のものでも可能です。

(4) Webカメラ ※PC内蔵のものでも可能です。

6. ねらい

この研修では、よりよい対人援助のための基本的な知識・技術・態度を学んでいきます。
支援現場での経験が浅く（従事期間3年未満）、日々、対人援助場面で直面する「困ったり、悩んだり」していることはありませんか？

対人援助についての基本的な知識や技術を講義で学び、演習で体験することによって、「今より、もう少し、良くなる」行動を考えられるようになります。また、今の自分に必要なのは対人援助の「知識」なのか、「技術」なのか、「行動」することなのか、もしくは？・など、普段はあまり考えることのない自分自身をよりよく知ることにもつながる研修にしていきたいと考えています。

7. 日 程

9:15 9:45 10:00

12:00 13:00

16:00

受付	操作説明	講義中心（わかる） <ul style="list-style-type: none"> ・対人援助技術の基本を学ぶ ・バイスティック7原則とは ・人を援助するということ 	昼休憩	演習中心（かわる） <ul style="list-style-type: none"> ・基本を身につけるための演習 ・基本的な聞き方・話し方 ・振り返りとまとめ
----	------	--	-----	---

※開始 15 分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

8. 申込期限

令和4年6月10日（金）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。（<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※6月17日（金）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

9. その他

- (1) 本研修はZOOMを使用したオンラインでの研修となりますので、ご参加いただくにはPC及びインターネット環境が整っている必要があります。
- (2) 本会ホームページにZOOMの動作確認方法を掲載しておりますので、必ずお申込み前に動作確認をお願いいたします。
- (3) 本研修は音声だけでの参加や聴講のみの参加はできません。必ずビデオで顔が映り、音声で発言ができる状態でのご参加となります。
- (4) 1端末につき1名参加することができます。※1台のPCで複数名の受講は不可。
- (5) 受付開始2時間前の時点で「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル4」等が発令された場合は、研修を中止します。また新型コロナウイルス等やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。中止の場合は社会福祉研修センターホームページでもお知らせします。
- (6) 本研修は、令和4年11月8日（火）にも同一内容で開催します。

オンライン研修

研修番号

08

「新任職員基礎研修（高齢）」開催要項

1. テーマ

「新任職員としての心構えとは

～新任職員にもとめられる役割とコミュニケーションの重要性を学ぶ～」

2. プログラム及び講師

【第1部（講義）】 10：00 ~ 12：00

テーマ：「福祉的支援に対する基本姿勢～本人の自己選択に配慮した支援～」

講 師：名古屋人権擁護委員協議会 人権擁護委員
社会福祉法人華陽会 理事長 岩田 竜司 氏

〔<プロフィール>
人権擁護委員として13年、社会福祉法人の役職員として20年、
主に老人福祉施設の運営に携わり地域福祉活動に従事する。
他に、一般社団法人中部シニア活性化機構理事、
認定NPO法人日本ミャンマー豊友会理事。〕

【第2部（講義・演習）】 13：00 ~ 16：00

テーマ：「先輩職員から学ぶ～新人職員に期待される役割とは～」

講 師：社会福祉法人なごや福祉施設協会

なごやかハウス希望ヶ丘 ケア統括長	山本 晃弘 氏
なごやかハウス丸池 ケア統括長	後藤 潤 氏
なごやかハウス名西 ケア統括長	大木 麻澄 氏
本部事務局 施設指導担当主幹	河田 倫宏 氏

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和4年8月4日（木） 10：00～16：00

【会 場】オンライン会場 ※ZOOMを使用したオンラインでの研修となります。

4. 定員及び対象者

【定 員】100名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】高齢福祉事業所に勤務する採用後おおむね1年未満の職員

※採用後3年未満へ対象拡大し、追加募集を行います。（R4.6.15改）

5. 参加にあたりご準備いただくもの

(1) パソコン（Windows10 推奨）及びインターネット環境（光回線）

※7.9インチ以上のタブレットでも可能ですが、Wi-Fi環境が必須となります。
なお、スマートフォンでの参加はご遠慮ください。

(2) 静かな環境（部屋）

※周囲の音量によっては研修に支障がでることがあります。

(3) ヘッドセット（マイクとイヤホン） ※PC内蔵のものでも可能です。

(4) Webカメラ ※PC内蔵のものでも可能です。

6. ねらい

新任職員の一人ひとりが、福祉従事者として自覚することは、福祉サービス利用者へより質の高い支援を行う基盤となる。

本研修では、人権を尊重し、個人の尊厳を守る姿勢を示し、本人の自己選択に配慮した支援を理解することで、新任職員として資質向上を図る機会とする。さらに、先輩職員の話を聞くことで、新任職員としての心得や役割を学ぶ。

7. 日 程

9:15	9:45	10:00	12:00	13:00	16:00
受付	操作説明	第1部 「福祉の支援に対する 基本姿勢」	昼休憩	第2部 「先輩職員から学ぶ ～新任職員に期待される 役割とは～」	

※開始 15 分前より注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

8. 申込期限

令和4年6月10日（金）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>
名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※6月17日（金）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

9. その他

- (1) 本研修は ZOOM を使用したオンラインでの研修となりますので、ご参加いただくには PC 及びインターネット環境が整っている必要があります。
- (2) 本会ホームページに ZOOM の動作確認方法を掲載しておりますので、必ずお申込み前に動作確認をお願いいたします。
- (3) 本研修は音声だけでの参加や聴講のみの参加はできません。必ずビデオで顔が映り、音声で発言ができる状態でのご参加となります。
- (4) 1 端末につき 1 名参加することができます。※ 1 台の PC で複数名の受講は不可。
- (5) 受付開始 2 時間前の時点で「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル 4」等が発令された場合は、研修を中止します。また新型コロナウイルス等やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。中止の場合は社会福祉研修センターホームページでもお知らせします。

「普通救命研修」開催要項

研修番号
09

1. テーマ

「救急法について学ぶ

～ “もしも” のための応急手当（普通救命講習）～

2. 講 師

名古屋市救急救命研修所 応急手当研修センター 指導員

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和4年8月5日（金） 9：30～12：30

【会 場】名古屋市医師会館 6階講堂

（東区葵1-4-38 最寄駅：地下鉄東山線「新栄町」駅）

4. 定員及び対象者

【定 員】30名（原則、1施設につき1名）

※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】障害福祉施設および高齢者福祉施設に勤務する職員

5. ねらい

施設の利用者が安心して生活できるよう、不慮の事故などに対する緊急対応や、傷病者が発生した場合の応急手当を学ぶ。具体的なプログラムは、心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の取扱方法、異物除去法や止血法といった方法に関する知識・技術について実技を通して実践的に学ぶことにより、万一の場合に適切な対応ができるよう自己資質の向上を図る。

6. 日 程

9:15 9:30

12:30

受付	講義・実技 「救急法について学ぶ」
----	----------------------

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

令和4年6月10日（金）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。（<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※ 6月17日（金）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- (1) 同日に同研修が2回ありますので、午前と午後をお間違えのないようお申し込みください。
- (2) 名古屋市高齢・障害福祉職員研修にて本年度、全6回開催の「普通救命研修」はすべて、消防署が開催する定期講習の「普通救命講習1」と同一内容で開催します。
- (3) 本研修は修了証が発行されます。既に名古屋市消防局発行の「普通救命講習」修了証をお持ちの方は、研修会場にてご提出ください。なお、遅刻や早退をされた場合、修了証は発行されません。
- (4) 欠席の場合は、必ず事前にご連絡ください。(連絡先TEL: 745-6660)
- (5) 医師会館の駐車場は使用できませんので、公共交通機関でお越しください
- (6) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (7) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる場合は、事前にお知らせください。
- (8) 受付開始2時間前の時点で「特別警報」または「暴風警報」または「警戒レベル4」の発令が出された場合は、研修を中止します。中止の場合は研修センターホームページでもお知らせします。
- (9) 受講決定者に対し、事前確認事項があります。詳細は抽選後、受講決定者へお送りする「受講決定のお知らせ」にてご連絡いたします。

新型コロナウイルスの感染防止のため、皆様のご理解並びにご協力をお願いします。

- ① 名古屋市の判断により、中止となる場合があります。

受講予定日の2週間前までに名古屋市社協研修センターホームページに実施の有無を掲載しますので、必ず事前に実施状況をご確認ください。直前の中止や変更もあり得ますのでご了承ください。

【HPアドレス：<http://care-net.biz/23/zaitakunet/> または「名古屋市社協 研修センター」で検索】

- ② 3密を避けるため、定員数の削減や研修内容等を変更する場合があります。また、換気のため快適な空調とはなりませんので、防暑・防寒対策をお願いします。

- ③ 研修中は、常時マスクの着用をお願いします。消毒薬等も可能な限りご持参ください。

- ④ 研修当日も含め、研修前2週間以内に発熱や咳等の感染が疑われる症状があった場合には、参加をご辞退いただきます。お手数ですが、必ず社会福祉研修センター（745-6660）までご連絡ください。

- ⑤ 当日は決定通知時にお送りする「受講者体調等確認書」をご提出いただきます。

研修会場案内図

【名古屋市医師会館】

名古屋市東区葵 1-4-38 (6階講堂)



(公共交通機関のご案内)

- 地下鉄東山線「新栄町」駅下車
2番出口より徒歩5分
- 地下鉄桜通線「車道」駅下車
4番出口より徒歩9分



名古屋市医師会館の入り口からお入りください。
※隣の医師会急病センターとお間違えないよう
ご注意ください。

◇ 研修会場へは、公共交通機関をご利用ください ◇

会場に駐車場はありません。

「普通救命研修」開催要項

研修番号
10

1. テーマ

「救急法について学ぶ

～ “もしも” のための応急手当（普通救命講習）～

2. 講 師

名古屋市救急救命研修所 応急手当研修センター 指導員

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和4年8月5日（金） 13：00～16：00

【会 場】名古屋市医師会館 6階講堂

（東区葵1-4-38 最寄駅：地下鉄東山線「新栄町」駅）

4. 定員及び対象者

【定 員】30名（原則、1施設につき1名）

※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】障害福祉施設および高齢者福祉施設に勤務する職員

5. ねらい

施設の利用者が安心して生活できるよう、不慮の事故などに対する緊急対応や、傷病者が発生した場合の応急手当を学ぶ。具体的なプログラムは、心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の取扱方法、異物除去法や止血法といった方法に関する知識・技術について実技を通して実践的に学ぶことにより、万一の場合に適切な対応ができるよう自己資質の向上を図る。

6. 日 程

	12:45	13:00	16:00
受付		講義・実技 「救急法について学ぶ」	

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

令和4年6月10日（金）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。（<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※ 6月17日（金）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- (1) 同日に同研修が2回ありますので、午前と午後をお間違えのないようお申し込みください。
- (2) 名古屋市高齢・障害福祉職員研修にて本年度、全6回開催の「普通救命研修」はすべて、消防署が開催する定期講習の「普通救命講習1」と同一内容で開催します。
- (3) 本研修は修了証が発行されます。既に名古屋市消防局発行の「普通救命講習」修了証をお持ちの方は、研修会場にてご提出ください。なお、遅刻や早退をされた場合、修了証は発行されません。
- (4) 欠席の場合は、必ず事前にご連絡ください。(連絡先TEL:745-6660)
- (5) 医師会館の駐車場は使用できませんので、公共交通機関でお越しください
- (6) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (7) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる場合は、事前にお知らせください。
- (8) 受付開始2時間前の時点で「特別警報」または「暴風警報」または「警戒レベル4」の発令が出された場合は、研修を中止します。中止の場合は研修センターホームページでもお知らせします。
- (9) 受講決定者に対し、事前確認事項があります。詳細は抽選後、受講決定者へお送りする「受講決定のお知らせ」にてご連絡いたします。

新型コロナウイルスの感染防止のため、皆様のご理解並びにご協力をお願いします。

① 名古屋市の判断により、中止となる場合があります。

受講予定日の2週間前までに名古屋市社協研修センターホームページに実施の有無を掲載しますので、必ず事前に実施状況をご確認ください。直前の中止や変更もあり得ますのでご了承ください。

【HPアドレス：<http://care-net.biz/23/zaitakunet/> または「名古屋市社協 研修センター」で検索】

② 3密を避けるため、定員数の削減や研修内容等を変更する場合があります。また、換気のため快適な空調とはなりませんので、防暑・防寒対策をお願いします。

③ 研修中は、常時マスクの着用をお願いします。消毒薬等も可能な限りご持参ください。

④ 研修当日も含め、研修前2週間以内に発熱や咳等の感染が疑われる症状があった場合には、参加をご辞退いただきます。お手数ですが、必ず社会福祉研修センター（745-6660）までご連絡ください。

⑤ 当日は決定通知時にお送りする「受講者体調等確認書」をご提出いただきます。

研修会場案内図

【名古屋市医師会館】

名古屋市東区葵 1-4-38 (6階講堂)



(公共交通機関のご案内)

- 地下鉄東山線「新栄町」駅下車
2番出口より徒歩5分
- 地下鉄桜通線「車道」駅下車
4番出口より徒歩9分



名古屋市医師会館の入り口からお入りください。
※隣の医師会急病センターとお間違えないよう
ご注意ください。

◇ 研修会場へは、公共交通機関をご利用ください ◇

会場に駐車場はありません。

「権利擁護研修」開催要項

研修番号
11

1. テーマ

「高齢者・障害者のための権利擁護支援を学ぶ」

2. 講師

【第1部 (講義)】 10:00 ~ 10:40 / テーマ:「権利擁護の視点」

講 師:名古屋市社会福祉協議会 権利擁護推進部 部長 伊藤 秀司 氏

【第2部 (講義)】 10:50 ~ 12:15 / テーマ:「高齢者・障害者の虐待について」「障害者差別について」

講 師:高齢者虐待相談センター・障害者虐待相談センター 所長 弘田 直紀 氏
(障害者差別相談センター 統括責任者)

【第3部 (講義)】 13:15 ~ 14:15 / テーマ:「日常生活自立支援事業について」

講 師:障害者・高齢者権利擁護センター北部事務所 副所長 山根 真弓 氏

【第4部 (講義)】 14:25 ~ 15:25 / テーマ:「成年後見制度について」

講 師:成年後見あんしんセンター 副所長 高橋 健輔 氏

【第5部 (演習)】 15:35 ~ 16:30 / テーマ:「振り返りグループワーク・まとめ」

講 師:成年後見あんしんセンター 副所長 高橋 健輔 氏

3. 開催日時及び会場

【日 時】 令和4年 8月9日 (火) 10:00 ~ 16:30

【会 場】 オンライン会場 ※ZOOMを使用したオンラインでの研修となります。

4. 定員及び対象者

【定 員】 100名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】 高齢・障害福祉事業所職員

5. 参加にあたりご準備いただくもの

(1) パソコン (Windows10 推奨) 及びインターネット環境 (光回線)

※7.9インチ以上のタブレットでも可能ですが、Wi-Fi 環境が必須となります。

なお、スマートフォンでの参加はご遠慮ください。

(2) 静かな環境 (部屋)

※周囲の音量によっては研修に支障がでることがあります。

(3) ヘッドセット (マイクとイヤホン) ※PC内蔵のものでも可能です。

(4) Web カメラ ※PC内蔵のものでも可能です。

6. ねらい

判断能力が低下した方の権利を守るための成年後見制度や障害者差別・虐待についての基礎知識や関係機関とその役割などを学び、権利擁護の理解を深める。

7. スケジュール

時間	内容
9:15	受付開始
9:45	操作説明
10:00	第1部【講義】「権利擁護の視点」
10:40	休憩
10:50	第2部【講義】「高齢障害者の虐待について」
12:15	昼休憩
13:15	第3部【講義】「日常生活自立支援事業について」
14:15	休憩
14:25	第4部【講義】「成年後見制度について」
15:25	休憩
15:35	第5部【演習】振り返り・グループワーク・まとめ
16:30	終了

※開始 15 分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

※講義の順序は都合により変更となる場合があります。

8. 申込期限

令和4年6月10日（金）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。（<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※6月17日（金）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

9. その他

- (1) 本研修はZOOMを使用したオンラインでの研修となりますので、ご参加いただくにはPCとインターネット環境が整っている必要があります。
- (2) 本会ホームページにZOOMの動作確認方法を掲載しておりますので、必ずお申込み前に動作確認をお願いいたします。
- (3) 本研修は音声だけでの参加や聴講のみの参加はできません。必ずビデオで顔が映り、音声で発言ができる状態でのご参加となります。
- (4) 1端末につき1名参加することができます。※1台のPCで複数名の受講は不可。
- (5) 受付開始2時間前の時点で「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル4」等が発令された場合は、研修を中止します。また新型コロナウイルス等やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。中止の場合は社会福祉研修センターホームページでもお知らせします。
- (6) 令和5年2月27日（月）に開催する研修と同一内容です。

オンライン研修

研修番号

12

「介護記録研修」開催要項

1. テーマ

「介護記録の書き方」

2. 講 師

名古屋柳城短期大学 准教授 介護福祉士 大崎 千秋 氏

<プロフィール>

あいち技術コンテスト 監修・審査委員長 平成30年～令和2年

介護福祉士国家試験幹事委員 平成20年～平成29年 EPA外国人介護福祉士候補生講師

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和4年8月19日（金） 10：00～16：00

【会 場】オンライン会場 ※ZOOMを使用したオンラインでの研修となります。

4. 定員及び対象者

【定 員】100名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】採用後3年未満の職員

5. 参加にあたりご準備いただくもの

(1) パソコン (Windows10 推奨) 及びインターネット環境 (光回線)

※7.9インチ以上のタブレットでも可能ですが、Wi-Fi 環境が必須となります。

なお、スマートフォンでの参加はご遠慮ください。

(2) 静かな環境 (部屋)

※周囲の音量によっては研修に支障がでることがあります。

(3) ヘッドセット (マイクとイヤホン) ※PC内蔵のものでも可能です。

(4) Web カメラ ※PC内蔵のものでも可能です。

6. ねらい

「介護記録」はより良いサービスを提供するうえで非常に重要なが、「書かれていない」「他人が読んでも理解ができない」などしっかりと整備されていない事業所も多い現状がある。そのような中、介護記録の「意義」「目的」や「活用方法」などを学び、介護記録の重要性とサービス提供との関係性を再確認するとともに、演習で例題をもとに実際に介護記録を書き、介護職員として留意すべき記録の書き方、他者が読みやすい記録の書き方を学ぶ。

7. 日 程

9:15 9:45 10:00		12:00 13:00	16:00
受付	操作説明	＜講義・演習＞ 「記録の意義と目的」 「記録を書くときの留意事項」	昼休憩 ＜講義・演習＞ 「支援経過記録の書き方」 「グループワーク」

※開始 15 分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

8. 申込期限

令和4年6月10日（金）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。（<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※6月17日（金）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

9. その他

- (1) 本研修は ZOOM を使用したオンラインでの研修となりますので、ご参加いただくには PC 及びインターネット環境が整っている必要があります。
- (2) 本会ホームページに ZOOM の動作確認方法を掲載しておりますので、必ずお申込み前に動作確認をお願いいたします。
- (3) 本研修は音声だけでの参加や聴講のみの参加はできません。必ずビデオで顔が映り、音声で発言ができる状態でのご参加となります。
- (4) 1 端末につき 1 名参加することができます。※ 1 台の PC で複数名の受講は不可。
- (5) 受付開始 2 時間前の時点で「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル 4」等が発令された場合は、研修を中止します。また新型コロナウイルス等やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。中止の場合は社会福祉研修センターホームページでもお知らせします。
- (6) 本研修は、令和4年10月5日（水）にも同一内容にて開催予定です。

「人材育成研修」開催要項

1. テーマ

「職員の能力を伸ばすキャリアパスの構築と活用について」

2. 講師

高崎健康福祉大学 健康福祉学部 社会福祉学科 教授 永田 理香 氏

<プロフィール>

群馬県生まれ。専門は福祉人材育成論。群馬県社会福祉協議会研修担当、群馬県スクールソーシャルワーカー等を経て現職。教育学修士、コミュニティ福祉学博士(立教大学)。社会福祉士。現在の研究テーマは、福祉・介護サービス従事者のキャリアパスを基盤とした人材育成方法について。人材育成認証評価制度の設計等に関わり、キャリアパスの構築方法をはじめとした、福祉職場が主導して取り組める人材育成方法について、実証的な視点から研究活動を行っている。

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和4年8月24日（水） 10：00～16：40

【会 場】オンライン会場 ※ZOOMを使用したオンラインでの研修となります。

4. 定員及び対象者

【定 員】80名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】高齢・障害福祉事業所に勤務する管理者、人事労務事務担当者及び職場内研修担当者

5. 参加にあたりご準備いただくもの

(1) パソコン (Windows10 推奨) 及びインターネット環境 (光回線)

※7.9インチ以上のタブレットでも可能ですが、Wi-Fi 環境が必須となります。

なお、スマートフォンでの参加はご遠慮ください。

(2) 静かな環境 (部屋)

※周囲の音量によっては研修に支障がでることがあります。

(3) ヘッドセット (マイクとイヤホン) ※PC内蔵のものでも可能です。

(4) Web カメラ ※PC内蔵のものでも可能です。

6. ねらい

福祉・介護分野の仕事は、専門的な知識、技術が求められているため、施設・事業所は法人の理念や方針、求める職員像を明確にしながら、職員が中長期的に成長できる適切な仕組みを準備することが必要であり、各施設・事業所ごとに個人の職業経歴上の道筋(キャリアパス)に対応した職員育成体制づくりについて、工夫されながら進めていると思います。

今回は、それぞれの施設・事業所にあったキャリアパスの構築方法や活用方法等、福祉職場が主導して取り組める人材育成方法について、受講生間の情報交換等も含め、実証的な視点で学びます。

7. 日 程

9:15 9:45 10:00		12:00 13:00	16:00	16:40	
受付	操作説明	講義・演習 「福祉人材育成の現状と課題 —キャリアパスの基本的理解—」	昼休憩	講義・演習 「キャリアパスの構築 及び活用方法について」	高齢者及び 障害者虐待 防止法の 理解

※開始 15 分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

※研修は参加型のため、皆様のご質問や理解度で研修進行など、変更する場合があります。

※16 時より高齢者及び障害者虐待防止法について理解を図る研修を実施させていただきます。

8. 申込期限

令和4年6月10日（金）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。（<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※6月17日（金）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

9. その他

- (1) 本研修は ZOOM を使用したオンラインでの研修となりますので、ご参加いただくには PC 及びインターネット環境が整っている必要があります。
- (2) 本会ホームページに ZOOM の動作確認方法を掲載しておりますので、必ずお申込み前に動作確認をお願いいたします。
- (3) 本研修は音声だけでの参加や聴講のみの参加はできません。必ずビデオで顔が映り、音声で発言ができる状態でのご参加となります。
- (4) 1 端末につき 1 名参加することができます。※1 台の PC で複数名の受講は不可。
- (5) 受付開始 2 時間前の時点で「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル 4」等が発令された場合は、研修を中止します。また新型コロナウイルス等やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。中止の場合は社会福祉研修センターホームページでもお知らせします。
- (6) 受講決定者に対し、事前レポートを設けます。詳細は抽選後、受講決定者へお送りする「受講決定のお知らせ」にてご連絡いたします。

オンライン研修

研修番号

「医療基礎知識研修（高齢）」開催要項

14

1. テーマ

「医療連携に必要な基礎知識」

2. 講 師

一般財団法人 名古屋市療養サービス事業団
名古屋市港・熱田訪問看護ステーション 所長 中村 美喜 氏

〔<プロフィール>

平成11年4月 現法人入職（訪問看護師、介護支援専門員として勤務）
令和元年4月～ 現所属

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和4年8月25日（木） 10：00～16：00

【会 場】オンライン会場 ※ZOOMを使用したオンラインでの研修となります。

4. 定員及び対象者

【定 員】60名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】高齢福祉事業所に勤務する職員

5. 参加にあたりご準備いただくもの

（1）パソコン（Windows10 推奨）及びインターネット環境（光回線）

※7.9インチ以上のタブレットでも可能ですが、Wi-Fi環境が必須となります。

なお、スマートフォンでの参加はご遠慮ください。

（2）静かな環境（部屋）

※周囲の音量によっては研修に支障がでることがあります。

（3）ヘッドセット（マイクとイヤホン） ※PC内蔵のものでも可能です。

（4）Webカメラ ※PC内蔵のものでも可能です。

6. ねらい

高齢福祉事業所において、医療機関に橋渡しをする場面があり、医療との連携を図ることが必要不可欠となる。この研修では、利用者・医療機関との関わりの中で、円滑な連携を図れるよう、共通言語として基礎的な医療知識を学ぶ。

※福祉職員として知っておきたい基礎的な医療知識研修であり、個別のご相談にお答えできるものではありませんので、ご了承ください。

7. 日程

9:15	9:45	10:00	12:00	13:00	16:00
受付	操作説明	【講義】 「介護職に必要な医療の知識」	昼休憩	【講義・演習】 「医療職との円滑な連携」	

※開始 15 分前より注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも適宜休憩を設けます。

8. 申込期限

令和4年6月10日（金）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※6月17日（金）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

9. その他

- (1) 本研修は ZOOM を使用したオンラインでの研修となりますので、ご参加いただくには PC 及びインターネット環境が整っている必要があります。
- (2) 本会ホームページに ZOOM の動作確認方法を掲載しておりますので、必ずお申込み前に動作確認をお願いいたします。
- (3) 本研修は音声だけでの参加や聴講のみの参加はできません。必ずビデオで顔が映り、音声で発言ができる状態でのご参加となります。
- (4) 1 端末につき 1 名参加することができます。※ 1 台の PC で複数名の受講は不可。
- (5) 受付開始 2 時間前の時点で「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル4」等が発令された場合は、研修を中止します。また新型コロナウイルス等やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。中止の場合は社会福祉研修センターホームページでもお知らせします。
- (6) 受講決定者に対し、事前レポートを設けます。詳細は抽選後、受講決定者へお送りする「受講決定のお知らせ」にてご連絡いたします。

「介護技術研修（入浴介助）」開催要項

研修番号

15

1. テーマ

「入浴・清潔研修」

2. 講 師

日本福祉大学中央福祉専門学校 介護福祉士科学科長 高木 直美 氏

日本福祉大学中央福祉専門学校において学生指導を行うほか、愛知県内で開催される現任介護職員研修、実務者研修、初任者研修など多くの研修で指導実績をもつ。

日本福祉大学中央福祉専門学校 介護福祉士科専任教員 板部 美紀子 氏

病院での看護師勤務、日本福祉大学社会福祉総合研修センター専任講師等を経て現職。愛知県内で開催される現任介護職員研修、実務者研修、初任者研修など多くの研修で指導実績をもつ。

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和4年8月26日（金） 10:00～16:00

【会 場】日本福祉大学中央福祉専門学校 204教室・介護実習室・入浴実習室

(中区千代田3-27-11 最寄駅：地下鉄鶴舞線「鶴舞」駅・JR中央線「鶴舞」駅)

4. 定員及び対象者

【定 員】40名（原則、1施設につき1名）

※水着着用実技のため、男女で部屋を分けて各20名の定員となります。

男女別々の選択肢にてお申し込みください。

【対象者】高齢・障害福祉関係事業所に勤務する職員

5. ねらい

利用者の身体を清潔に保つことは健康維持に大変重要であり、入浴介助は介護職員にとって欠かせない技術である。しかし、羞恥心を伴う行為であるため、尊厳についても配慮しなければならない。

そこで、入浴介助に必要な基礎知識と基本動作やその手順について学び、入浴介助をする側と、される側を体験することで、利用者の気持ちを理解するとともに、介助のポイントを習得する。

6. 日 程

9:30 10:00		12:00	13:00	16:00
受付	講義	更衣・昼休憩	・演習「清拭および入浴介助」 ・グループワーク	

※男女別のグループで清拭介助と入浴介助の介護者・利用者を体験します。

清拭…全員が介護者・利用者体験 入浴…利用者体験は一部の方のみ

※全員の入浴体験はできませんので、ご了承ください。当日、入浴利用者を各グループで1名選出いたします。お手数ですが、念のため全員水着のご準備をお願いします。

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

令和4年6月10日（金）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページからお願
いします。（<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※ 6月17日（金）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には「落
選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- (1) 体調不良、皮膚のトラブル等で演習ができない場合、当日、講師とご相談ください。
- (2) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しくだ
さい。
- (3) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。緊急連絡
等は会場外でお願いします。
- (4) 空調管理の調節が難しいため、ご自分で温度調整ができる服装でご受講ください。
- (5) 都合によりキャンセルされる場合は、事前にご連絡ください。
- (6) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われ
る場合は、事前にお知らせください。
- (7) 受付開始2時間前の時点で「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル4」等が
発令された場合は、研修を中止します。中止の場合は社会福祉研修センターホームページ
ページでもお知らせします。

＜服装・持ち物＞

【演習の服装・身だしなみ】

①Tシャツ	④アクセサリー着用不可
②ジャージ下（長ズボン）	⑤爪は短くしてください
③介護実習室用上履き（スリッパ、ビーチサンダル不可）	⑥長い髪は束ねてください

※演習にふさわしい服装・身だしなみでご参加ください。

【入浴利用者の準備】（念のため全員水着のご準備をお願いします。）

- ①水着（ワンピース型、セパレート型のどちらでも可。無い場合は、キャミソールまたはタンク
トップと短パンでも可（ハーフパンツ不可））
- ②入浴実習用上履き（清潔なゴム底のビーチサンダルなど）
- ③シャワーキャップ（髪が濡れる場合があるので必要に応じて）

【その他持ち物】

①バスタオル2枚	⑤ぞうきん1枚
②フェイスタオル2～3枚	⑥筆記用具
③ハンドタオル1枚	⑦昼食
④ビニール袋（濡れた服やタオルを入れるもの）	※必要に応じて予備の衣類・下着・靴下

新型コロナウイルスの感染防止のため、皆様のご理解並びにご協力をお願いします。

①名古屋市の判断により、中止となる場合があります。

受講予定日の2週間前までに名古屋市社協研修センターホームページに実施の有無を掲載しますので、必ず
事前に実施状況をご確認ください。直前の中止や変更もあり得ますのでご了承ください。

【HPアドレス：<http://care-net.biz/23/zaitakunet/> または「名古屋市社協 研修センター」で検索】

②3密を避けるため、定員数の削減や研修内容等を変更する場合があります。また、換気のため快適な
空調とはなりませんので、防暑・防寒対策をお願いします。

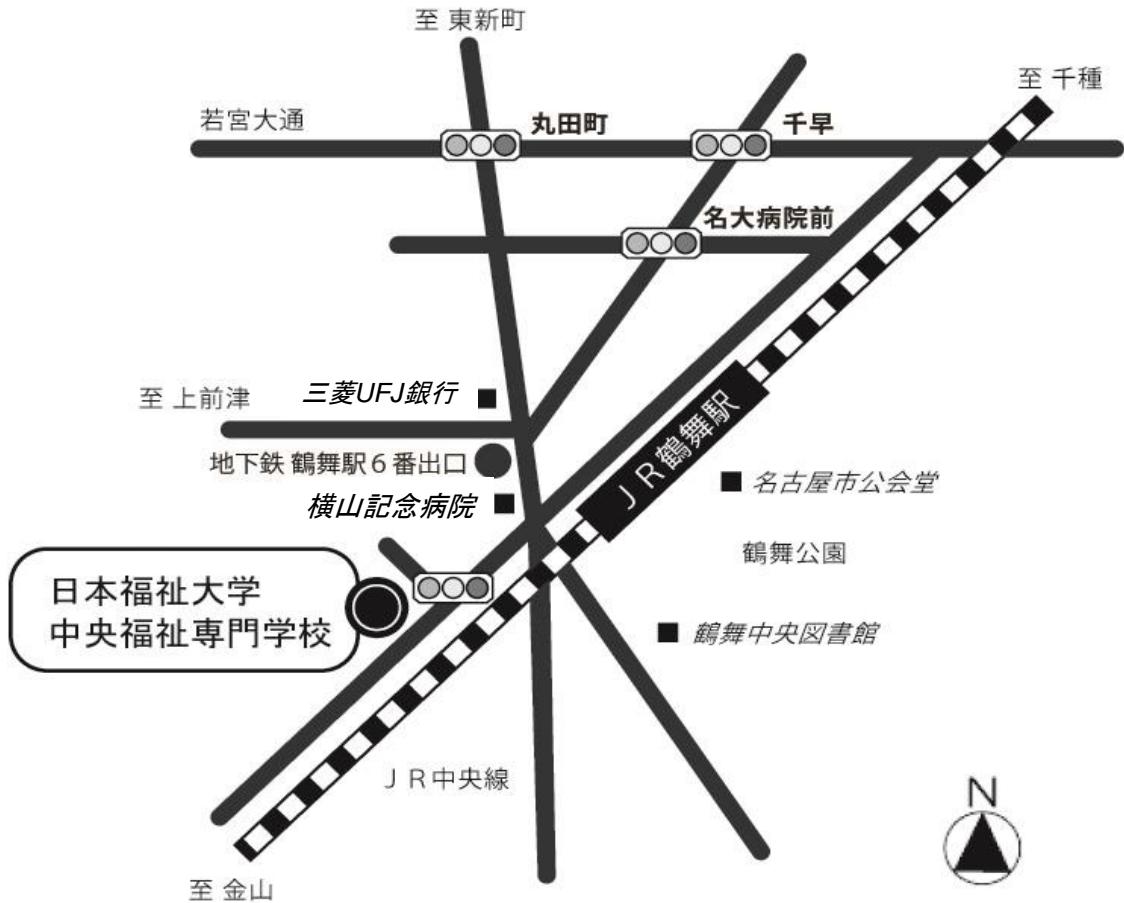
③研修中は、常時マスクの着用をお願いします。消毒薬等も可能な限りご持参ください。

④研修当日も含め、研修前2週間以内に発熱や咳等の感染が疑われる症状があった場合には、参加をご
辞退いただきます。お手数ですが、必ず社会福祉研修センター（745-6660）までご連絡ください。

⑤当日は決定通知時にお送りする「受講者体調等確認書」をご提出いただきます。

研修会場案内図

【日本福祉大学中央福祉専門学校】 名古屋市中区千代田3-27-11



(公共交通機関のご案内)

<JR>中央線「鶴舞」下車 公園口より南へ徒歩4分

<地下鉄>鶴舞線「鶴舞」下車 ⑥番出口より南へ徒歩3分

「横山記念病院」を目印に、JR中央線の高架に沿って、金山方面に進んでください。

◇ 研修会場へは、公共交通機関をご利用ください ◇

オンライン研修

「発達障害研修」開催要項

研修番号

16

1. テーマ

「自閉症の特性と支援の組み立てに必要な
行動の見方やアセスメントについて」

2. 講 師

アイズサポート 代表 伊藤 久志 氏

<プロフィール>

認定行動療法士。中京大学大学院修士課程修了後、総合病院精神科児童外来、クリニック小児科、NPO法人にて発達臨床を経験する。現在は、アイズサポートにて、幼児から大人までの主に発達障害のある人たちの個別支援、コンサルテーション、保護者支援を行っている。

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和4年8月31日（水） 10：00～16：00

【会 場】オンライン会場 ※ZOOMを使用したオンラインでの研修となります。

4. 定員及び対象者

【定 員】100名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】障害者(児)支援関係に勤務する職員

5. 参加にあたりご準備いただくもの

(1) パソコン (Windows10 推奨) 及びインターネット環境 (光回線)

※7.9インチ以上のタブレットでも可能ですが、Wi-Fi環境が必須となります。

なお、スマートフォンでの参加はご遠慮ください。

(2) 静かな環境 (部屋)

※周囲の音量によっては研修に支障がでることがあります。

(3) ヘッドセット (マイクとイヤホン) ※PC内蔵のものでも可能です。

(4) Web カメラ ※PC内蔵のものでも可能です。

6. ねらい

自閉症のある方の対応に困っているので、具体的な支援方法を知りたいという話をよく聞きます。本研修では、まず自閉症の特性や行動の見方やアセスメントについて学びます。その上で、利用者の行動の目的を読み取り、必要な支援を具体的に考えることをねらいとします。

7. 日 程

		9:15 9:45 10:00	12:00	13:00	16:00
受付	操作説明	【講義】 「自閉症の特性」「行動を見る」 「行動のアセスメント」	昼休憩	【講義】 「支援/トータルアセスメント」 【演習】	

※開始 15 分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

8. 申込期限

令和4年6月10日（金）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。(http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b)

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細は別紙「申込方法のご案内」をご覧ください。

※6月17日（金）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

9. その他

- (1) 本研修は ZOOM を使用したオンラインでの研修となりますので、ご参加いただくには PC 及びインターネット環境が整っている必要があります。
- (2) 本会ホームページに ZOOM の動作確認方法を掲載しておりますので、必ずお申込み前に動作確認をお願いいたします。
- (3) 本研修は音声だけでの参加や聴講のみの参加はできません。必ずビデオで顔が映り、音声で発言ができる状態でのご参加となります。
- (4) 1 端末につき 1 名参加することができます。※ 1 台の PC で複数名の受講は不可。
- (5) 受付開始 2 時間前の時点で「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル4」等が発令された場合は、研修を中止します。また新型コロナウイルス等やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。中止の場合は社会福祉研修センターホームページでもお知らせします。
- (6) 本研修は、名古屋市知的障害者福祉施設連絡協議会、社会福祉法人名古屋手をつなぐ育成会、名古屋市発達障害者支援センターりんくす名古屋、及び名古屋市知的障害者更生相談所と共にあります。